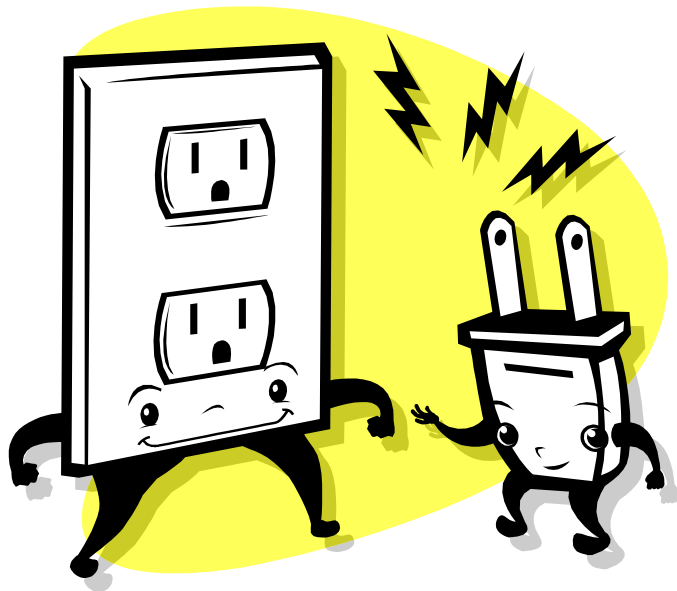


～ 高速電力線搬送通信設備作業班(第15回)資料 ～  
船舶(鋼船)内利用の検討状況



2018年10月11日

高速電力線通信推進協議会(PLC-J)

# 輻射測定実験のための船舶の選定

複数の船舶での実験を計画しており、実験目的で借用可能な

**実験用船体の要件：** <1>大型の船舶      <2>ガラス窓船室を持つ船舶

を満たす船体を、日本船用工業会(以下日船工)様および各船主様のご協力を賜り、以下のように確保することができました。

2018年10月中に、実験を実施し、船外への不要輻射、船内機器への影響などを評価する予定です。

橘丸



汐路丸



船名	橘丸	汐路丸
船主様	東海汽船株式会社 様	国立大学法人 東京海洋大学 様
総トン数	5,681トン	425トン
全長	118m	49.9m
旅客定員	596名 (+コンテナ34個)	62名
母港	東京 竹芝	東京 勝どき

船舶搭載機器に関係する法令には、船舶安全法があり、また船級協会には鋼船規則があります。

その詳細・解釈について国土交通省 海事局 様、日本海事協会様(船級の認証団体)と協議をいたしました。

PLCの船舶内利用に関しては、以下のご見解を頂戴しております。

- 1) 船舶の運航に関わる機能としてPLCを使用する場合は、法令等の規定を満たすこと必要で、検査対象となる。
- 2) それ以外(乗客のエンタメ向け等)の用途の場合は、法令等の適応はない。

これに加え、様々な船内搭載機器に対する影響の有無を確認するため、様々なジャンルの機器製造メーカー様にヒアリングを継続しております。